

2021年度 定時総会

2021年6月3日(木)13:00～15:00 ホテルニューオータニ「鳳凰の間」



2021年度定時総会は、昨年度同様、議決権行使書を活用し会場の出席人数を抑えた形での開催としつつも、今年度はWeb会議システムを併用することで43名の役員会員にリモート出席いただきました。また、会場の様子はLIVE配信にて、多くの会員の皆様にご覧いただきました。

本総会では、「地域生団連」の基本指針やコロナ禍における困窮者支援の必要性等について活発な議論が行われ、すべての議案が原案通り可決承認されました。

決議事項

- 第1号議案 2020年度活動報告について
- 第2号議案 2020年度収支決算について
- 第3号議案 2021年度活動計画について
- 第4号議案 2021年度収支予算について
- 第5号議案 定款の変更および事務局規程制定について
- 第6号議案 会員の異動について

【2021年度活動計画 要旨】

■地域生団連の基本方針

- (1) 国民全体の課題について、地域の住民・企業が一緒になって議論する
- (2) 地域生団連は、(全国)生団連が国民の生活と生命を守る立場から掲げる重点課題について、地域の選良である国会議員とその実現に向けた情報共有及び討論を行う
- (3) また地域生団連は、地域国会議員による重点課題の解決に向けた具体的活動へのサポートを行うとともに、議員より活動報告を日常的に受け、すみやかにメンバーに対して共有を行う
- (4) 国民全体の課題と関連する地域特有の課題についても議論を進め、立案を行う



▲日本水産株式会社
浜田 晋吾 代表取締役



▲三菱食品株式会社
京谷 裕 社長執行役員



▲アサヒビール株式会社
塩澤 賢一 代表取締役社長



▲埼玉県地域婦人会連合会
楠沼 トミ子 会長



▲一般社団法人消費者市民社会をつくる会
阿南 久 代表理事

■最重点課題

新型コロナウイルス感染拡大防止と医療提供体制の改善～緊急事態下の法制度とオペレーションの見直し～

- (1) 医療提供体制、感染拡大防止、ワクチン、困窮者支援、人材活用の5つの観点について調査・研究
- (2) 各事項における共通課題を掘り下げ、国民目線の具体的な提言へとつなげる



▲小川会長

■重点課題

1 「国家財政の見える化」に向けて

- (1) 「国家財政の見える化」の実現に向けて必要な具体的なアクションの実行・提言
- (2) 国家の持続的成長を実現する予算制度改革、「3ヵ年予算制度」
- (3) コロナ禍による影響を受けた国民に寄り添った活動の模索・実行



▲キリンビール株式会社 布施 孝之 代表取締役社長
([「国家財政の見える化」委員会座長])

2 「生活者としての外国人」の受入れ体制の構築に向けて

- (1) 「教育」に関する具体的な制度設計・整備への提言
- (2) 「就労」に関する制度運用の実態把握・論点整理
- (3) 「外国人の受入れに関する基本指針」の掲示



▲三菱食品株式会社 森山 透 代表取締役
(外国人の受入れに関する委員会座長)

3 「エネルギー・原発問題」の国民的議論に向けて

- (1) 「第6次エネルギー基本計画」策定に関する検証・意見表明
- (2) 再生可能エネルギー・原発問題に関するファクト収集・現地現物活動



▲株式会社高島屋 鈴木 弘治 代表取締役会長
([「エネルギー・原発問題」委員会座長])

4 「生団連災害支援スキーム」での実効性のある支援実現に向けて

- (1) 防災備蓄を活用した支援
- (2) 仮設住宅等入居者への支援
- (3) その他、会員の持つリソースを活かした個別の支援モデルの検討
- (4) 「生団連災害支援スキーム」を活用したコロナ禍における困窮者支援について